

2024年度事業報告

2024年4月1日～2025年3月31日

2024年度の日本建築協会は、会員同士の交流、自己研鑽の機会を提供する場、すなわち会員の皆さまが存分に活用できるプラットフォームという位置づけを確立すべく尽力してきた。

協会誌「建築と社会」の「委員の“顔の見える”記事」の拡充、会員参加型の催事や講習会の質的向上と参加者増への努力、新しい才能を発掘する各種表彰・コンクールの励行など、多方面にわたり「会員のための協会」という意義を高めるため、積極的に活動を推進した。

その一例として、コロナ禍で中断していた「会員の集いIN TOKYO」の再開がある。関西圏が主体の当会が、今後どのように活動を展げていくべきか、大いに示唆に富む内容であった。

これら協会及び委員会活動の活性化・活発化の実質として、2024年度より、30余年ぶりの会費改定実施を決断した。会員各位の寛容なご支持を得て、甚大な影響が生じることもなく移行することができた。この場をお借りして改めてお詫び申し上げたい。下期からは「教育に資する正会員」枠を設け、特に、大学の研究講座等での新規会員を獲得すべく、継続して取組み中である。会員数については、団体会員は期初の218団体から3団体増加し221団体となったものの、個人会員は、期初の720人より17人減の703人となり、個人会員の拡大が課題となった。

ほか、他団体との協働として、年々盛上がりを見せる「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」に2024年度も協賛し、スペシャルツアーや実施、好評を得た。

協会内では、中国・京都・東海3支部との連絡協議会を各1回行ない、情報交換と業務連携について、従来以上に緊密な結びつきを構築すべく、認識を共有した。

最後に、まさに「場」としての協会拠点として、ワークスペースのリニューアルが完了したことを報告しておきたい。U-35委員会の熱意ある尽力により、また、事業者・メーカー各位から惜しみない協力をいただき、年度末を迎えた3月に竣工することができた。

2024年度収支決算については、会費の改定を実施したため、経常収益が前年度比357万円の増加となつた。一方、諸物価高騰の影響、本部ワークスペースのリニューアル等により、経常費用は前年度比288万円の増加となつた。結果、前年度比70万円の収支改善となったものの正味財産期末残高は、46万円の減となつた。

I 本 部

◎役員会等の開催状況

1. 総会・理事会・評議員会・常任理事会

定時総会 6月28日(金)

- ①2023年度事業報告・決算報告
- ②2024年度事業計画・収支予算
- ③役員候補者選任
- ④会費改定

⑤教育に資する団体会員創設

第1回 通常理事会 6月13日(木)

- ①2023年度事業報告・決算報告
- ②2024年度事業計画・収支予算
- ③役員候補者選任
- ④会費改定
- ⑤教育に資する団体会員創設
- ⑥委員会の新設

第1回 臨時理事会 6月28日(金)

- ①会長選任
- ②役付役員選任
- ③常任理事・常設委員長委嘱
- ④理事の会務分掌

第2回 通常理事会 11月14日(木)

- ①2024年度上半期事業執行状況
- ②事務局のフレックスタイム制導入

定期評議員会 6月13日(木)

- ①議長互選
- ②役員候補者推薦
- ③2023年度事業報告(案)
- ④2024年度事業計画(案)
- ⑤2023年度収支決算(案)と2024年度収支予算(案)
- ⑥2024年度の役員(理事)・評議員の回答状況
- ⑦その他(Informationページの運用改定他)

第2回 常任理事会 5月29日(水)

- ①2023年度事業報告(案)
- ②2023年度決算報告(案)
- ③2024年度事業計画(案)
- ④2024年度収支予算(案)
- ⑤2024年度の役員(理事)・評議員の回答状況
- ⑥教育に資する団体会員創設
- ⑦教育委員会の再編
- ⑧委員会の体系・委員長の委嘱
- ⑨個人会員のメリット

⑩論考コンクールポスター図案

⑪“映える”大阪プロジェクトへの協力

第3回 常任理事会 7月24日(水)

- ①「わたしの考える万博パビリオンデザインコンクール」(在阪建築四団体会長支部長会議報告)
- ②事務局リニューアル
- ③「会員サービスの一環」としての「CPDのエンター」
- ④教育に資する団体会員制度のPR
- ⑤経理の外注化
- ⑥事務局フレックス導入
- ⑦SNSの発信の仕方

第4回 常任理事会 9月25日(水)

- ①会員の集いIN TOKYO 開催
- ②支部長会議、通常理事会の議題確認
- ③教育に資する団体会員制度PR
- ④事務局リニューアル案
- ⑤2025年度定時総会スケジュール
- ⑥建築と社会賞の検討

第5回 常任理事会 10月23日(水)

- ①上半期事業執行状況(案)
- ②上半期収支・予算執行状況
- ③出版委員会
- ④定款細則変更
- ⑤「建築と社会」年間テーマ
- ⑥「建築と社会賞」
- ⑦事務所リニューアルの方向性

第6回 常任理事会 1月22日(水)

- ①臨時理事会(書面開催)について
- ②教育に資する団体会員勧誘のためのアプローチ
- ③事務局リニューアル進捗
- ④2025年度新入会員ガイド
- ⑤「建築と社会賞」

第7回 常任理事会 2月26日(水)

- ①1月末締め決算速報
- ②論考コンクール審査員の構成
- ③会員数拡大(「教育に資する団体会員」ご紹介介状況等)
- ④新入会員ガイドのスケジュール、予算
- ⑤事務局リニューアル予算
- ⑥2025年度の役員、評議員の推薦依頼

第8回 常任理事会 3月26日(水)

- ①インフォメーションページ
- ②「建築と社会賞」
- ③委員会別収支

第1回 会長・副会長・常任理事・支部長会議

11月14日(木)

- ①2024年度上半期事業執行状況(案)
- ②意見交換

2. 常設委員会

協会の事業を円滑に遂行するため、6つの常設委員会を設置している。

(1) 編集企画委員会

協会誌「建築と社会」の企画・編集のため、編集企画委員会を設置し、2つの小委員会(特集、ひと・まち・建築)で構成している。さらに特集小委員会は7つの分科会(計画、建築デザイン、空間デザイン、構造、環境、施工材料、法令)に分かれている。

当期は、編集企画委員会を12回、特集小委員会(分科会を含む)を60回、ひと・まち・建築小委員会を11回開催した。

会誌収支は、2021年度から徐々に回復基調になっている。2019年度以降、さまざまな対策を起案する組織を編成し、協会誌のあり方や魅力付け、さらには編集企画委員会のあり方という根源的な側面にも及ぶ検討を重ねてきた成果であり、冒頭に記した活性化策をはじめとして、引き続き改善策を模索しながら収支改善に継続的に取組むものである。

さらなる協会誌の魅力度アップを図り、時代の流れに沿った内容、WEB配信の検討という部分も、引き続き実施すべき重要な内容になっている。当期においては、「作品作風」ページを「project」と改め、基本2ページ見開き掲載としていたところをカラー4ページに増やし、情報の質・量を高めて執筆者及び読者ともにメリットのある改変に努めた。

(2) 事業委員会

見学会・講演会・交流会の開催、他団体との連携を行うことを目的に、情報見学会小委員会と2023年度に発足したCCCフォーラムとで構成している。

4月に担当副会長、事業委員長、各小委員会委員長の4名で事業委員会委員長会議を開催し、事業計画を確認した。

情報見学会小委員会は、委員会を7回開催し、4月に「三井建設鉄構事業本部」、9月に「ABCハウジングウェルビーインのむ」、10月に「箕面船場阪大前駅エントランス・箕面市立文化劇場」、12月に「第37回『茶室』見学会(西翁院・濱看席・重文)」と見学会を4回実施し、うち箕面市の2件で大阪市の「映える大阪プロジェクト」で広報連携を実施した。また、史料研究会と協力して生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2024に参画し、「日本建築協会Presents!心斎橋・なんばを歩く」を10月27日に開催した。

CCCフォーラムは委員会を12回開催した。6月・2月に青年技術者交流会を開催し、9月に同フォローアップ会を行った。また、2023年度から事業委員会で受け持っている「第3回新入会員ガイダンス」を4月24日に開催した。協会誌「建築と社会」2024年9月号では、法令分科会とのコラボレーション企画に参画した。

その他、「第43回大阪都市景観建築賞」の幹事会に3回、審査委員会に1回、担当副会長と事業委員長で参加した。なお、当期は審査委員派遣の当番年に当たり、前回に引き続き、吉村英祐・常任理事(大阪工業大学客員教授)に審査委員を務めていただいた。

(3) 出版委員会

建築に関する図書の企画・編集・刊行を行ったため、当期は11回開催した。地盤リスクを教訓する書籍・住宅工事の納まりに関する書籍を出版した。

(4) 教育委員会

建築工事実務講習会を開催する講習会小委員会が、第1回通常理事会において常設委員会として承認され、教育委員会から独立した。

史料研究会は5回開催され、協会誌の連載記事「再読 関西の建築」で取上げる建築・論考を選出するとともに、「先達に聞く」と名付けた新企画を開催した。

また、大阪府や建築4団体で構成する「大阪府住まい・まちづくり教育普及協議会」にも引き続き協力した。

(5) 未来創生プロジェクト

様々な活動を通じて、建築と社会の未来を探り、創り、育てるとともに人材の発掘・育成を目的に、建築次世代委員会、2040委員会、U-35委員会の3つの委員会で構成している。

建築次世代委員会は、建築と社会を担う人材育成に資する活動を創造するため、9回開催した。学生のための現場見学会を1回実施し、WEB見学会コンテンツをホームページに掲載した。

2040委員会は、日本建築協会が百年にわたり築いてきた歴史の上に、「次世代(NextGeneration)」の想いを集結させ、「次代(Next Era)」が創造的で魅力的なものとなるべく、これから「建築と社会」のあるべき姿を思考(志向、試行)することを目的に11回開催し、内1回はオープン委員会として参加者を募り開催した。

U-35委員会は、若手会員の増強と協会活動の活性化を目指し9回開催した。委員相互の勉強会として「talk baton」を1回実施した。

また、協会本部のワークプレイス改修に尽力し、茨木市の社会実験(2023年度)で使用した「ノマドギ」を一部再利用し循環させることで、協会のイメージ向上に貢献した。

(6) 講習会委員会

教育委員会に属していた「講習会小委員会」のさらなる活性化を図るために、第1回通常理事会において、常設委員会の1つに当委員会を設置することが承認された。

委員会は3回開催した。

多くの参加者の意見を踏まえ、従来1日開催してきた講習会を「施工計画」と「積算・仮設見積」に分け、講義時間を拡大した2日間開催に変更し、参加者数の増加を実現した。

3. 特別委員会

協会の顕彰事業を円滑に遂行するため、5つの特別委員会を設置している。

(1) 青年技術者選考委員会

設計・計画、構造、設備、施工など建築に関連する分野から35歳以下の青年技術者を顕彰するため、選考委員会を5月14日(火)に開催した。

(2) 工高生デザインコンクール審査委員会

工高生デザインコンクールは、工高生の設計技能向上のため、1955(昭和30)年創立以来毎年実施してきた。審査委員会を10月19日(土)、表彰式を11月16日(土)に開催した。

(3) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール審査委員会

100周年記念事業のテーマである「新しい地平」を実現するため、論考の発表の場を提供する「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールの応募作品を審査し、表彰している。

当期のテーマは「建築X」とし、会議は3回開催した。

1月27日(月)に審査委員会を開催し一次審査通過者3名を選出した。

またオンラインによる公開プレゼンテーションと最終審査を、3月1日(土)に実施し、片岡安賞1名、佳作2名を決定した。

(4) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール実行委員会

論考コンクールのテーマ案策定、審査委員選任、公開プレゼンテーションの運営などを行なう独立した組織である。

当期は2回開催した。第9回のテーマを「100」とし、第8回以降の新審査委員長の候補者を選定した。

◎事業の執行状況

1. 「建築と社会」誌の発行

「建築と社会」誌は、1917(大正6)年の創立以来協

会活動の中核として、会員相互あるいは会員と社会を結ぶ役割を果たしている。毎月発行し会員の手元に届けている。2025年3月号で通巻1236号を数える。

| 発行月 | 特集内容 |
|-----------|---|
| 4月号 | 「トランスマーチン」の先にある未来 |
| 5月号 | トランスマーチンとWell-being |
| 6月号 | 片岡安賞 第7回 日本建築協会論考コンクール 募集テーマ Well-being 受賞論考発表 |
| 7月号 | 第71回 青年技術者 |
| 8月号 | ワークプレースのトランスマーチン |
| 9月号 | まちづくりルール |
| 10月号 | トランスマーチン & ものづくり —人々に幸せを与える— |
| 11月号 | 構造技術のトランスマーチンと未来への挑戦 |
| 12月号 | 特別な体験を生み出す至高のプロジェクト 場のトランスマーチンによる挑戦 |
| 1月号 | 「EXPO2025年が拓く未来」—2025年大阪・関西万博に向けて |
| 2月号 | 第31回 会員作品「私の空間作法」 |
| 3月号 | 東海支部特集 |
| 特集以外の主な内容 | ●project ●gallery ●法令コーナー ●構造・設備の頁 ●再読 関西の建築 ●Member's Forum ●information |

2. 講演会の開催

話題の建築物や構造物、都市問題など様々なジャンルを対象にエピソードや苦労話、ノウハウなどを聞く講演会を毎年開催している。

開催: 6月28日(金)

名称等: 定時総会記念講演「和室学のすすめ—世界で日本にしかない空間—」

講師: 神戸芸術工科大学学長 松村秀一

参加者: 70名

CCCフォーラム主催分

開催: 6月14日(金)

名称等: 第7回 青年技術者交流会

発表者: 浅田翔大(日建設計)

古城拓哉(日建設計)

山岸 隆(安井建築設計事務所)

山本和宏(昭和設計)

参加者: 21名

開催: 9月13日(金)

名称等: 第8回 青年技術者フォローアップ会

発表者: 持留崇志(竹中工務店)

山岸 隆(安井建築設計事務所)

片岡規(安井建築設計事務所)

木全瑛二(竹中工務店)

山崎 拓(安井建築設計事務所)

南澤智規(森下大右建築設計事務所)

薮田裕(大和ハウス工業)

新井翔太(鹿島建設)

井上紗紀(オカムラ)

参加者: 16名

開催: 2月21日(金)

名称等: 第9回 青年技術者交流会

発表者: 差尾孝裕(日建設計)

杉田陽平(竹中工務店)

福井大典(大林組)

安本浩江(東畑建築事務所)

参加者: 19名

関東圏で当協会に入会、または入会後同圏に移動した会員について、協会の様々な活動を通じての横断的な交流の機会が少ない状況を鑑み、2019年に「会員の集いIN TOKYO」を開催。その後コロナ禍により中断していたが、今期、5年ぶりに開催した。

開催: 10月31日(木)

名称等: 会員の集いIN TOKYO 2024

講師: 細谷貴司(竹中工務店)

杉木勇太(安井建築設計事務所)

田辺慎吾(日建設計)

堤 友紀(大林組)

乘越由香(清水建設)

渡邊有祐(東畑建築事務所)

参加者: 58名

3. 見学会の実施

著名建築物や近代建築などの見学会を毎年実施している。当期は5回・6施設で開催した。

建築次世代委員会で、「第9回学生のための見学会『平城宮跡歴史公園第一次大極殿院東樓復原整備工事』」を行い、情報見学小委員会で、「三栄建設鉄構事業本部」、「ABCハウジングウェルビーのみの」、「箕面船場阪大前駅エントランス・箕面市立文化劇場」、「第37回『茶室』見学会」西翁院・瀬看席(重文)を開催した。

建築次世代委員会主催分

開催: 7月17日(水)

名称等: 第9回学生のための見学会

平城宮跡歴史公園

第一次大極殿院東樓復原整備工事

講師: 藤原 勇(竹中工務店)

富本宗樹(同上)
橋本 慧(同上)
小西和仁(同上)
谷崎俊介(同上)
時川 敬(同上)

参加者: 37名

情報見学小委員会主催分

開催: 4月18日(木)

名称等: 三栄建設鉄構事業本部

講師: 瀬山充博(竹中工務店)

参加者: 33名

開催: 9月24日(火)

名称等: ABCハウジングウェルビーのみのお

講師: 片岡慎策(片岡構造)

木村貞基(アルファ建築設計事務所)

森下大右(森下大右建築設計事務所)

参加者: 14名

開催: 10月21日(月)

名称等: 箕面船場阪大前駅エントランス・箕面市立文化劇場

講師: 児玉謙一郎(久米設計)

秋葉俊二(同上)

西森史裕(大林組)

前田茂樹(ジオーグラフィック・デザイン・ラボ)

中西富仁広(東畑建築事務所)

参加者: 36名

開催: 12月7日(土)

名称等: 第37回「茶室」見学会 西翁院・瀬看席(重文)

講師: 宮川祐宏(西翁院和尚)

桐浴邦夫(京都建築専門学校)

参加者: 29名

4. 建築工事実務講習会の開催

1957(昭和32)年以降、毎年主として中堅以下の建築技術者を対象に標記講習会を実施している。当期は1月21日(火)・1月28日(火)に開催した。

開催: 1月21日(火)

名称等: 施工計画

講師: 山東圭司(戸田建設)

伊藤俊雄(清水建設)

参加者: 80名

開催: 1月28日(火)

名称等: 積算・仮設見積

講師: 鄭泰允(大林組)

参加者: 75名

5. 顕彰事業の実施

(1) 青年技術者の顕彰

1954(昭和29)年度から毎年実施している。2024年度・第71回は44名を顕彰した。

・設計・計画 20名

稻村 陸、加藤将人、栗山康輔、差尾孝裕、佐藤美紀、里吉 健、杉田陽平、立松裕規、田中健一郎、常田悠太、豊島浩太郎、西山康史、信川侑輝、林宏樹、福井大典、前田千晶、牧村将吾、水野裕介、安田翔太、矢吹和也

・構造 8名

岩月 僕、大河 肇、大西 歩、沖田裕介、柴田淳平、藤井嵩広、堀内健太郎、横山佳史

・設備 11名

安立拓未、大西宗太郎、加藤隆矢、小林大祐、都築弘政、原瀬拓也、本多順子、前岡良輔、森田直樹、安本浩江、渡邊翔太

・施工 5名

鍵本孔輝、小林駿介、関口剛志、牧元祐太、松本圭太

(2) 優秀卒業生の表彰

建築系学科の優秀な卒業生を表彰することにより、研鑽意欲の向上を促し、激励するため1952(昭和27)年から実施している。

当期は下半期に、高等学校、工業高等学校、高等専門学校、専門学校を対象に、26校49名に実施した。

6. コンクールの実施

(1) 工高生デザインコンクールの実施

当期で70回を数える。「私のまちの私たちのすまい」を設計課題に募集を行い、8校より95点の応募があり、内94点を合格とした。10月19日(土)に審査会、11月16日(土)に表彰式を行った。

開催: 11月16日(土)

・最優秀賞 鈴木仁大

三重県立四日市工業高等学校 2年

・優秀賞 大辻悠生

大阪府立工芸高等学校 3年

濱田 愛

大阪府立工芸高等学校 3年

・入選 阿部圭悟

北海道旭川工業高等学校 3年

後藤 岸

大阪府立工芸高等学校 3年

中岡依央莉・西野優大・古家康佑

堺市立堺高等学校 3年

中島暖埜花

大阪府立工芸高等学校 3年

野村郁羽

大阪府立工芸高等学校 3年

松原広空

大阪府立工芸高等学校 3年

渡邊詩織

大阪府立工芸高等学校 3年

(2) 第8回「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールの実施

「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールは、創立100周年を迎えたことを機に、本会の歴史を見つめ直し、「建築と社会」誌がさらに優れた論考の受け皿となり、建築界全体にとって有益な媒体となることを目的に立上げた。

当期は「建築X」をテーマに募集し、応募のあった論考18作品を審査した結果、「片岡賞」1名、佳作2名を選定した。学校法人常翔学園の協賛による賞金10万円を「片岡賞」入賞者1名に授与した。

開催: 3月1日(土)

・片岡安賞 建築の「搖らぎ」反映的透明性と自己の発見 高橋麟太郎

・佳作 団面の上のおじいさんと生活
～今和次郎探集団面の文化人類学的分析～
寒川漸太
進化建築学(建築) X (進化生物学)
吉田和弘

7. 出版物の刊行

時代のニーズに即した新しい著書の発掘を第一とし、建築に関する図書を企画・編集・刊行しており、1949(昭和24)年以來多くの図書を出版してきた。「建築技術選書」と「プロのノウハウ」シリーズはその代表である。

当期は、9月に「住宅が傾かない地盤・基礎のつくりかた」、「現場写真でわかる木造住宅工事の納まり」、10月に「住宅エクステリアの100ポイント」第10刷を増刷、「住まいの寸法」台湾繁字体契約の延長を行った。

8. 連携事業

(1) 在阪建築関係4団体の連携

今年度は「在阪建築関係4団体会長支部長会議」を3回開催し、活発な情報交換、意見交換を行った。

また、在阪建築関係4団体と大阪府において「省エネ住宅・建築物の普及啓発の協力に関する協定」を締結し「断熱性能理解向上のための可視化シミュレーションツール」及び「ZEB事例集」の作成を行った。

(2) 生きた建築ミュージアム大阪との連携

一般社団法人人生きた建築ミュージアム大阪との連携事業も引き続き取組んだ。10月26日(土)・27日(日)に開催された生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2024で、10月27日にスペシャルツアーデザイン「日本建築協会Presents! 心斎橋・なんばを歩く」を実施した。公式ガイドブックを販売するなど連携を強めている。

事業委員会・史料研究会(教育委員会)所管

開催: 10月27日(日)

名称等: 日本建築協会Presents! 心斎橋・なんばを歩く(生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2024連携事業)

主要協力者: 指田孝太郎(日建設計)・挨拶

橋寺知子(関西大学准教授)

阿部文和(大阪歴史博物館学芸員)

安田徹也(神戸大学准教授)

奥村朋季(鴻池組)・実行委員長

阪口浩平(さんでん)・司会

参加者: 35名

9. 共催、後援、協賛、協力事業

協会の事業主旨に合致する事業に共催、後援、協賛した。

(1) 共催

開催: 5月13日 幹事会

9月6日 "

3月21日 "

1月23日 表彰式

名称等: 第43回大阪都市景観建築賞(愛称: 大阪まちなみ賞)

主催者: 大阪府、大阪市、(公社)大阪府建築士会、(一社)大阪府建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会、(一社)日本建築協会

(2) 後援

開催: 4月8日

名称等: 第62回関西建設人ゴルフ大会

主催者: 関西建設人ゴルフ大会委員会

開催: 5月1日~7月31日

8月1日~10月31日

11月1日~1月31日

名称等: 【WEB版】確認申請のプロセス講座 初級編

主催者: (一社)近畿建築確認検査協会

共催: (公社)大阪府建築士会

開催: 6月24日

名称等: 講習会 ウクライナの建築と文化を学ぶ

主催者: (公社)大阪府建築士会

開催: 8月30日~9月1日

名称等: 日本福祉のまちづくり学会

第27回全国大会(札幌)

主催者: (一社)日本福祉のまちづくり学会

開催: 9月10日~16日

| | |
|----------------|--|
| 名称等 | 建築学生ワークショップ醍醐寺2024 |
| 主催者 | (特非) アートアンドアーキテクツフェスタ |
| 開催 | 10月 8日 |
| 名称等 | 鴻池組旧本店 洋館・和館 見学会 |
| 主催者 | (公社) 大阪府建築士会 |
| 開催 | 10月16日～27日 |
| 名称等 | 木造建築の架構と形態の魅力展 木を育てる 展覧会・講演会 |
| 主催者 | (公社) 大阪府建築士会 |
| 開催 | 10月18日～28日 |
| 名称等 | Under 35 Architects exhibition 2024 |
| 主催者 | (特非) アートアンドアーキテクツフェスタ |
| 開催 | 10月22日 |
| 名称等 | 立命館大学 大阪いばらきキャンパス 新展開施設H棟 建築技術講習会 |
| 主催者 | (公社) 大阪府建築士会 |
| 開催 | 10月27日 |
| 名称等 | なにわ建築フェスタ2024児童画展 |
| 主催者 | (一社) 大阪府建築士事務所協会 |
| 開催 | 11月 6日 |
| 名称等 | (仮称) 淀屋橋東プロジェクト 建築技術講習会 |
| 主催者 | (公社) 大阪府建築士会 |
| 開催 | 11月25日 |
| 名称等 | 大阪・関西万博 大屋根リング 見学会+説明会 |
| 主催者 | (公社) 大阪府建築士会 |
| 開催 | 11月27日 |
| 名称等 | はじめての木造一戸建て住宅 「省エネ適合性判定・対策講座」 |
| 主催者 | (一社) 大阪府建築士事務所協会 (一社) 近畿建築確認検査協会 |
| 開催 | 12月 8日 |
| 名称等 | JIA市民大学講座2024 まちづくりセミナー 阪神・淡路大震災30年連続シンポジウム vol.01 創造的復興は成し遂げられたか 震災復興における建築家と職能団体の役割 を考える |
| 主催者 | (公社) 日本建築家協会近畿支部 |
| 開催 | 12月11日 |
| 名称等 | 祇園甲部歌舞練場 見学会 |
| 主催者 | (公社) 大阪府建築士会 |
| 開催 | 1月 6日～3月31日 |
| 名称等 | WEB版はじめての木造一戸建て住宅 「省エネ適合性判定・対策講座」 |
| 主催者 | (一社) 大阪府建築士事務所協会 (一社) 近畿建築確認検査協会 |
| 開催 | 2月28日 |
| 名称等 | 神戸ポートミュージアム アトア 設計・施工説明会 |
| 主催者 | (公社) 大阪府建築士会 |
| 開催 | 2月28日～3月 2日 |
| 名称等 | 修成建設専門学校 卒業展2025 |
| 主催者 | 学校法人 修成学園 修成建設専門学校 |
| 開催 | 3月13日 |
| 名称等 | 「なぜ、BIMを使わないのですか?」 ～少人数事務所での活用事例～ |
| 主催者 | (一社) 大阪府建築士事務所協会 |
| 開催 | 3月15日 |
| 名称等 | まちあらきプロジェクト 「ぶらり大阪『景観』ウォーク西成区編」 |
| 主催者 | (一社) 大阪府建築士事務所協会 |
| 開催 | 3月28日 |
| 名称等 | BIMセミナー 建築設計におけるデジタル技術の活用手法 |
| 主催者 | (公社) 大阪府建築士会 |
| (3) 協賛 | |
| 開催 | 9月 9日応募開始 |
| 名称等 | 第34回「あすなろ夢建築」 |
| | 大阪府公共建築設計コンクール |
| 主催者 | 大阪府、(公社) 大阪府建築士会 大阪府住宅供給公社 |
| 開催 | 10月26日～27日 |
| 名称等 | 生きた建築ミュージアムフェスティバル 大阪(イケフェス大阪) 2024 |
| 主催者 | (一社) 生きた建築ミュージアム大阪 |
| 開催 | 11月20日～22日 |
| 名称等 | Japan Home Show & Building Show 2024 |
| 主催者 | (一社) 日本能率協会 |
| 開催 | 3月 4日～7日 |
| 名称等 | 建築・建材展 2025 (第31回) |
| 主催者 | 日本経済新聞社 |
| (4) 協力 | |
| 当期該当なし | |
| 10. 工事請負契約約款事業 | |
| | 民間(七会) 連合協定工事請負契約約款委員会に 2名の委員を派遣した。 |
| | 引き続き「民間(七会) 連合協定工事請負契約約 款契約書関係書式」「民間(七会) 連合協定小規模建 築物・設計施工一括工事請負契約書類(書式・約 款)」「民間(七会) 連合協定リフォーム工事請負契 約書類(書式・約款)」「民間(七会) 連合協定マン ション修繕工事請負契約約款契約書関係書式」の販 売を行うとともに、約款委員会が発行する4つの約 款・書式の説明用パンフレットを販売窓口等で配布 し、約款の周知、啓発に努めた。 |
| 11. 役員派遣 | |

大阪商工会議所に2号議員として役員1名を派遣した。

(一財) 大阪建築防災センターに監事として役員1名を派遣した。

Ⅱ 支 部

【京都支部】

○役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会
定時総会 9月27日(金)
 - ①2023年度事業報告・収支決算報告
 - ②2024年度事業計画・収支予算計画
- 会計監査 9月19日(木)
 - ①会計等監査
- 第1回 常議員会 4月18日(木)
 - ①近現代建造物調査について
 - ②見学会について
 - ③京都支部総会について
- 第2回 常議員会 6月20日(木)
 - ①理事会報告
 - ②近現代建造物調査について
 - ③見学会・セミナー計画について
- 第3回 常議員会 8月22日(木)
 - ①近現代建造物調査について
 - ②見学会・セミナー計画について
 - ③京都支部総会について
 - ④京都支部の事務機能について
- 第4回 常議員会 10月18日(金)
 - ①近現代建築調査について
 - ②セミナー・見学会について
- 第5回 常議員会 12月13日(金)
 - ①近現代建築調査について
 - ②セミナー・見学会について
 - ③来年度の事業計画
- 第6回 常議員会 2月21日(木)
 - ①近現代建築調査について
 - ②セミナー・見学会について
 - ③支部設立80周年記念事業について
 - ④来年度の事業計画

○事業の執行状況

1. 講演会・見学会、勉強会の実施

1. 講演会・見学会、勉強会の実施
 - ①京都府北部での近現代建築調査の一環として、沖縄郎の建築作品に関する調査と見学会、研究会を京都府加悦町と京都市で実施した。これらの成果については次年度の『建築と社会』誌に順次報告する予定である。
 - ②見学会・セミナーについては、今年度は準備期間として日吉ヶ丘高校校舎(堀口捨己設計)、及び對龍山荘の見学について協議し、所有者との調整を行った。
 - ③近現代調査の一環として、京都を地場として京都ならではの建築活動を行ってきた職方、工務店の記録作成を継続して行った。今年度は熊倉工務店へのインスピューと関連建築の見学会について協議し、関係者と調整を行った。

2. その他

- 2027年に京都支部設立80周年を迎えるにあたって、記念事業を実施することとし、支部長を中心とした具体的な事業計画の立案に向けての準備作業を行った。

○中国支部

○役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会
支部総会 11月 7日(木)
 - ①2023年度事業報告
 - ②2023年度収支決算報告及び監査報告
 - ③2024年度事業計画
 - ④2024年度収支予算
 - ⑤役員改選
 - ⑥建築施工技術研究委員会活動報告
- 第1回 常議員会 幹事会 5月17日(金)
 - ①2024年度事業計画(案)
 - ②技術講習会日程
 - ③若手・新入社員技術講習会講師について
 - ④新役員について
- 第2回 常議員会 幹事会 8月21日(火)
 - ①2023年度収支報告
 - ②2024年度中堅社員講習会について
 - ③2024年度若手・新入社員講習会収支について
 - ④2024年度役員変更について
- 第3回 常議員会 幹事会 9月10日(火)
 - ①2024年度定期総会について
 - ②2024年度常議員会について
 - ③中堅社員技術講習会の講義内容について
- 第4回 常議員会 幹事会 11月27日(水)
 - ①実務講習会について
 - ②中堅社員技術講習会収支報告
- 第5回 常議員会 幹事会 3月28日(金)
 - ①令和7年度事業計画(講習会)について
 - ②令和6年度収支報告について
 - ③若手・新入社員技術講習会について

○事業の執行状況報告

1. 技術講習会の開催

7月 9日(火) に若手・新入社員技術講習会を開催した。

11月27日(水) に中堅社員技術講習会を開催した。

2. 実務講習会の開催

2月27日(木) に開催した。

3. 工事請負契約約款事業

「民間(七会) 連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」「民間(七会) 連合協定小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約書類(書式・約款)」「民間(七会) 連合協定リフォーム工事請負契約書類(書式・約款)」「民間(七会) 連合協定マンション修繕工事請負契約約款契約書関係書式」の販売を行った。

【東海支部】

○役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会
定期総会 5月29日(水)
 - ①2023年度事業報告・収支決算報告
 - ②2024年度事業計画・収支予算計画
 - ③支部役員改選
- 第1回 常議員会 幹事会 4月23日(火)
 - ①2024年度定期総会・講演会
 - ②2023年度事業報告と2024年度事業計画
 - ③2023年度収支決算報告と2024年度収支予算計画
 - ④2024年度部役員・委員会構成
 - ⑤各常置委員会活動報告
- 第2回 常議員会 幹事会 5月16日(火)
 - ①2024年度定期総会議案
 - ②東海支部定期総会の段取り
 - ③各常置委員会活動報告
- 第3回 常議員会 幹事会 6月25日(火)
 - ①2024年度定期総会収支
 - ②2024年度常置委員会構成
 - ③本年度役員会日程
- 第4回 常議員会 幹事会 7月30日(火)
 - ①「東海の建築」(会員名簿統合) 発刊
 - ②8/28青年技術者交流会
 - ③各常置委員会活動報告
- 第5回 常議員会 幹事会 9月25日(水)
 - ①「東海の建築」(会員名簿統合) 発刊
 - ②2025年3月号「建築と社会」東海支部特集号 記事企画
 - ③海外建築視察について
 - ④各常置委員会活動報告
- 第6回 常議員会 幹事会 10月22日(火)
 - ①2025年3月号「建築と社会」東海支部特集号 記事企画
 - ②海外建築視察報告
 - ③各常置委員会活動報告
- 第7回 常議員会 幹事会 11月27日(水)
 - ①2025年3月号「建築と社会」東海支部特集号 記事企画
 - ②実務講習会について
 - ③各常置委員会活動報告
- 第8回 常議員会 幹事会 12月17日(火)
 - ①2025年3月号「建築と社会」東海支部特集号 記事企画
 - ②見学会について
 - ③各常置委員会活動報告
- 第9回 常議員会 幹事会 1月29日(水)
 - ①2025年3月号「建築と社会」東海支部特集号 記事企画
 - ②実務講習会報告
 - ③各常置委員会活動報告
- 第10回 常議員会 幹事会 2月25日(火)
 - ①2025年3月号「建築と社会」東海支部特集号 発刊
 - ②本年度決算見込みと次年度予算初案について
 - ③次年度事業計画案について
 - ④次年度総会準備(委員会構成、講演会講師)
 - ⑤各常置委員会活動報告
- 第11回 常議員会 幹事会 3月25日(火)
 - ①本年度決算見込みと次年度予算初案について
 - ②次年度委員会構成
 - ③総会講演会講師
 - ④各常置委員会活動報告
- (1) 総務委員会
支部定期総会準備、年度決算及び次年度予算作成並びに委員会構成等で随時開催した。
- (2) 編集委員会
「建築と社会」3月号(東海支部特集号)作成に向け関係者と打合せを適宜実施した。
- (3) 広報委員会
「東海の建築」第92号(会員名簿統合版)を秋に発刊するため準備を行った。
- (4) 事業委員会
海外建築視察・見学会実施のため、打合せを適宜開催した。
- (5) 研修委員会
支部建築工事実務講習会の講師検討・手配打合せを2回開催した。
8月28日(水) に青年技術者顕彰者交流会・懇親会を開催した。
- (6) 青年委員会
若手設計者による現地建物等見学及び意見交換会の場である「納マリ俱楽部」を適宜開催。
若手による支部活動の活性化を図っている。

◎事業の執行状況

1. 定時総会の開催(会場・WEBのハイブリッド開催)
総会出席、WEB参加、委任状及び書面による議決とした。
支部ホームページ、メール、郵送を活用し周知・運営を図った。
2. 講演会の開催
支部総会後に講演会を1回開催した。(会場・WEBのハイブリッド開催)
開催: 5月29日(水)
名称等: 「地域の未来を切り拓く共創(Co-innovation)を軸にした新しい大学とまちづくり、木材・発電・あそび場etc.」
講師: 井上 博成
(仮称)Co-Innovation University 理事長候補
(一社)CoIU設立基金 代表理事
参加者: 35名
3. 支部機関紙「東海の建築」の発行事業
「東海の建築」第92号(会員名簿統合版)を12月に発行。
4. 「建築と社会」3月号東海特集号の編集

- 東海支部会員作品2025 11作品、Tokai Sketch Book 4作品、東海の建築は「包」をテーマに3作品の掲載を行い、以下の特集の取りまとめを行った。
- 特集I 「これからのモノ・コト・ヒトづくりを考える」第4弾～ソトとの協業と共に創～
 - 特集II 納マリ俱乐部
 - 特集III 建築がつなぐ都市、地域、まちの記憶 第8回
 - 特集IV 海外建築視察報告
5. 建築工事実務講習会の開催
1月15日(水)に開催した。(施工計画・仮設見積・積算業務)
6. 海外建築視察の実施
10月11日(金)～10月13日(日)に海外建築視察を開催
「ソウルの現代建築を巡る旅」とし韓国ソウル市の建築を視察
7. 見学会の実施
3月10日(月)に見学会を開催
岐阜市立長良小学校および長良公民館/さくまオフィス/カムカムスワローを見学
8. 支部主催定期研修会の実施

今年度は実施なし。

9. 青年技術者顕彰者交流会の開催
8月28日(水)に第71回の青年技術者顕彰者(東海支部エリア在籍)を招いた交流会を開催した。
10. 納マリ俱乐部(青年交流会)
11月28日(木)に南山大学見学会を開催した。
11. 建築関係団体との交流、連携
(1) 建築八団体との連携
 - 愛知建築士会、愛知県建築士事務所協会、日本建築家協会東海支部愛知地域会、日本建築学会東海支部、日本建築構造技術者協会中部支部、日本積算協会東海北陸支部、愛知県設備設計監理協会、日本建築協会東海支部からなる連絡協議会(建築八団体連絡会)に參加した。
 - 名古屋市との昼食懇談会の調整運営を行った。
- (2) 中部建築賞協議会への協力
 - 中部建築賞を運営。監事として監査を実施した。